

定期テストに向けての対策

1 「定期テスト」とは何でしょうか。

- ① 定期テストとは、学校の授業で学習した内容を理解できているか、応用できるかを確認するためのテストです。学校の先生がテストを作ります。先生の話をよく聞いて、大切なところを聞き逃さないようにしましょう。
- ② 定期テストは年に数回行われます。
- ③ テスト範囲は毎回発表されます。くわしい範囲については各教科の先生からテストの1～2週間前に発表されます。
- ④ 定期テストの点数は成績に大きく影響します。成績は高校入試の合格の基準に使われる資料にも大きな影響を与えます。そのため、定期テスト前には「テスト勉強期間」と呼ばれる期間が決められており、テスト勉強のために部活動が休みになります。

2 「テスト勉強」で何をすればいいのでしょうか。

- ① 学んだことを整理する（教科書やプリント・ノートを見る）
- ② 学んだことをおさらいする（教科書やワークなどに載っている簡単な練習問題を解いて、わかるところとわからないところを確認する）
- ③ 苦手を克服する（②で確認したわかっていない部分を、教科書やノート・参考書などを活用して正しく理解し直す）
- ④ 実践演習をする（勉強の仕上げに問題集などを解いて、知識が身についているかを確かめる間違えたところは印をつけておくなどして、解けるようになるまで繰り返し解く）



3 具体的な学習方法

【国語】

- ① 漢字や語句を整理する。(勉強すれば確実に点が取れる部分なので、できるだけ早くから毎日少しづつ取り組む。新出漢字や語句などは、ノートにまとめたり自分の手で書いて覚える。)
- ② 教科書・ノートを読み直す。(授業の内容を思い出しながら、教科書やノートを確認する。)
- ③ ノートを見直し、大切なポイントについては、もう一度国語のノートや自学ノートにまとめる。
- ④ 覚えなければならない事柄（作者や表現技法など）は正確に何度も書いて頭に入れておく。

テスト前日は・・・

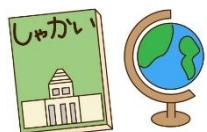


- ⑤ 教科書やノート、ワークシートを見直したり解き直す。(教科書でテスト範囲の部分を通して読み、しっかり理解できているか、また、漢字や語句がきちんと覚えられているか、再度確認する。)

【社会】

- ① 教科書・ノートを読んで全体の流れを押さえる。(テスト範囲の教科書をくり返し読んで、授業で学習した内容を思い出しながら全体を押さえる。)
- ② ノートにまとめる。(テスト範囲の内容をノートにまとめ直す。自分の言葉でまとめるうことにより、一つひとつの事柄の関連性や背景などへの理解を深めることができるので、覚えやすくなり忘れにくくなる。)
- ③ 太字になっている重要語句を覚える。(教科書で太字になっている重要語句を、授業のノートや参考書を参考にして意味を確認しながら覚える。)
- ④ ワークブックの問題を何度も解き、解答だけでなく問題もしっかりと確認し理解・暗記する。

テスト前日は・・・



- ⑤ 暗記事項、図表や資料を確認する。(教科書・ノートを見直しながら全体を確認する。教科書に載っている図表などの資料も、何の資料なのかチェックしておく。暗記が必要な重要語句などは正しい漢字で書けるようになっているかも確認する。)

【数学】

- ① 紙と鉛筆を使いながら教科書・ノートをじっくり読む。(自分の手で実際に式や図形を書きながらじっくり読み理解する。ノートに書いてあることや、先生が授業の中で強調して話されたところ、授業中に配られたプリントなどは重要。)
 - ② 教科書や問題集の例題・問題を解く。(まずは解答を見ずに自力で解いてみる。解答を見ながらノートに写すだけでは力がつかない。解いた後は解答を見て自己採点し、どこでつまづいたのかを知っておこう。)
 - ③ 時間をおいてまちがえた問題を解き直す。(これまでにまちがえた問題をくり返し取り組んで、解けるようになるまで練習する。)
- テスト前日は・・・
- ④ 教科書・ノートを見直す。(教科書をゆっくりと読み理解する。計算規則や公式がしっかりと覚えられているか確認する。何度も間違えた問題はくり返し解いて、解き方を覚えてしまうくらい練習する。)



【理科】

- ① 教科書とノートの確認をする。(教科書をすみずみまで読み、授業のノートを見直す。重要なと思われる事柄を整理して、ノートにまとめることもよい。)
 - ② 太字になっている重要語句を覚える。(教科書で太字になっている重要語句を、授業のノートなどを参考にして意味を確認しながら覚える。また、授業で観察や実験を行った場合には、観察・実験で使った器具の名前や使い方、実験方法や手順もしっかり覚える。)
 - ③ 問題を解く。(教科書の問題や学校で使っているワークに取り組み、まちがえたところは教科書やノートで確認する。特に計算が含まれる問題がある時は、問題を何度も解くことが重要。)
- テスト前日は・・・
- ④ 教科書、ノート、ワークを確認する。(テスト勉強で学習した内容が身についているかもう一度確認する。)

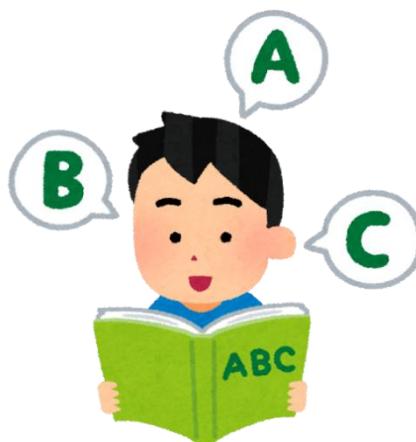


【英語】

- ① 授業で習った単語や英文を、**その日のうちに**発音しながら書いて覚える。意味を考えながら、発音やアクセントを意識して練習する。
- ② テスト範囲の教科書・授業用のノート・ワーク・プリントを見直す。単語と基本文は「読める」「意味がわかる」「書ける」ように繰り返し練習する。
- ③ 教科書の本文をすべて暗記するつもりで、声に出して読む。テスト前日まで、毎日1回は必ず読む。
- ④ ワークのテスト範囲の問題を必ず解いておく。間違えた問題は、直前にも見直せるよう印をつけておき、できるようになるまでやり直す。

【テスト前日は…】

- ⑤ 教科書を音読し、授業用ノートやプリントを見直す。
 - ⑥ 単語と基本文を確認する。正しいつづりで書けるか、意味はスラスラ言えるか、最後にしっかり確認しておく。
 - ⑦ コンマ、ピリオド、クエスチョンマークなどのマークに注意しながら、ていねいに基本文を書いてみる。
 - ⑧ 教科書の本文を日本語に訳することができるかを確認する。また、日本語訳を見ながら英文が書けるように練習する。
- * 答案用紙には、濃く丁寧に答えを記入すること。
- * 答案用紙に英語を書く場合は、4本の横線を意識して正しく書くこと。



4 「テスト本番」の受け方

テスト開始～中盤

- ① 大問ごとに必要な時間を考え、1問解き終わるたびに時計をチェックしよう。
(テスト対策のときから、1間にどのくらいの時間がかかるのかを意識しながら解いて、時間の感覚をつかむ。)
- ② 簡単そうな問題から解く。できない問題や時間のかかりそうな問題はマークをつけておき、後回しにする。(できない問題に時間をかけ過ぎてしまうと、あせってしまい、できたはずの問題までできなくなってしまうことがある。)
- ③ 見直しをするときのために、計算の途中式などを残しておく。(計算の途中式を残しておけば見直しもスムーズにできる。)

テスト終盤

- ① 一通り最後まで解いたら、後回しにした問題に取り組む。解き忘れ防止のために、問題・解答用紙の裏面もしっかりチェックする。
- ② 残り時間に合わせて必ず見直しをする。解答を書き直すときは慎重に！
- ③ 見直しをするときは、問題文も再度読み返す。思い込みで解いていることがあるので、記号で答えるのか、いくつ選ぶのかなど、よく理解した上で見直しをする。

テスト勉強、集中して頑張ろう！！

*教科書や荷物は後ろの棚に置きます。

*5分前には着席します。

*テストが終了したら、休み時間のうちに

教科書や荷物を元に戻し、次の授業の準備をします。

*机の落書き等は必ず消します。

